OMIYA MAIL NEWS

JR EAST TRANSPORT SERVICE WORKERS UNION
輸送サービス労組 大宮地本
JTSU-E OMIYA

2022.12.01
No. 024

HOMEPAGE TWITTER

2022 年 11 月 18 日

2021 年度 JTSU-E 大地申第 2 号

2021 年３月ダイヤ改正検証についての申し入れ

2022 年度 JTSU-E 大地申第 2 号

2022 年３月ダイヤ改正検証についての申し入れ 開催 その４

2022 年度 JTSU―E 大地申第 2 号〈さいたま運転区〉

1. 本郷台乗泊のシャワー室を増設すること。

［回答］設備の整備については、関係支社に要請していく考えである。

組合
毎年要望しているが、2人乗務が年間を通して発生している。改善を求める。

会社
各支社が設備を担当しており、要求は承知している。いろいろ鑑みた上で検討する。引き続き要請していくが、横浜支社からは回答はない。

2. 大宮駅、南浦和駅からの入区列車に誤乗されるお客さまが多発していることから、貫通作業者を増員させること。

［回答］必要に応じて検討していく考えである。

組合
誤乗が多い。要因は何か。対策はどうしていくのか。

会社
貫通中にお客さまが乗られてしまうことが要因。駅にも話している。車掌にはモニター等を活用して気をつけてもらいたい。

3. 本郷台の２・３番線からの出区は乗泊からの徒歩時間を含めて出区に要する時間が足りていない、会社の現状に至る根拠と今後の考え方を示すこと。

［回答］必要な時間は確保しているところである。

組合
起床点呼時刻以降に、忠実に出区点検を実施すると信号が開通してしまう。時間が足りていない。

会社
必要な時間は付与している。発車時刻から作業実態を考えて設定している。見直す考えにない。

4. 古市場踏切の踏切障検が作動する影響で日常的にエアーセクションの取り扱いが発生していることからシステムを改良し輸送品質の向上を図ること。

［回答］必要に応じて関係支社に要請していく考えである。

組合
総遅延時分、またどの程度を占めているのか。遅れる箇所として認識しているのか。

利用者の安全性についての認識は。

踏切が広いことも難点なのか。

乗務員や沿線住民も危機意識が低下し負のスパイラルとならないか

会社
データを持ち合わせていない。指令室からも同様な意見がある。

見合った設備であるが原因究明すべきところはある。横浜支社の設備なので回答は控える。

変電所の関係で調整出来るものではなく難しい。

検討すべきところは検討するのでご理解願いたい。

その５へ続く